

パブリックコメントの実施結果

1. 意見募集の概要

募集期間	平成 30 年 10 月 9 日（火）～平成 30 年 11 月 2 日（金）
閲覧場所	交通政策課 情報公開室 各区役所（総務・地域振興課） 各支所（総務民生課） 各地域センター 天満屋地下街市民サービスコーナー 本市ホームページ
意見の提出方法	電子メール、ファクス 郵送、持参
意見の提出先	岡山市都市整備局都市・交通部交通政策課

2. 意見募集の結果

- (1) 提出者数：17 名
- (2) 意見件数：123 件
- (3) 意見の概要及び意見に対する市の考え方：別紙のとおり

意見の概要と意見に対する市の考え方

(1/12)

No.	案	意見の概要
6つの岡山駅前広場デザインについて		
1	A	中途半端な感じが否めなかったり、岡山市のコンセプトをもとにしたデザインも強引さが目立ち、周囲の景観とマッチしていない。
2		岡山駅に合わない。見た目が良くない。
3		傘が多く連なる案については、「岡山」という場所を特徴的に表していない。
4		岡山駅ならではの風景にならない。
5		イベント時の様々なプランを想定しているのはいいが、小さな柱があちこちにある状況はイベント開催時にはかえって自由なレイアウトを損なう。
6		電停などに小さな円形屋根を付けるのはスペース的に無理。
7		南側のひのきカフェも、車の排ガスが多く、お茶を飲む気になれない。
8		工作物が多く、利用客の動線に影響する。
9		柱が通行の邪魔になる。大反対です。
10		屋根のデザイン性が高く、イベント等に使いにくいと思う。
11		A案は、一見奇抜そうだが、抽象的なデザインは飽きがこず、見る人によって解釈可能でもあり、しかも岡山駅周辺の建物とマッチしており個人的には一番よいと思う。
12		日傘のようなデザインは機能的にも優れている。

意見の概要と意見に対する市の考え方

(2/12)

No.	案	意見の概要
6つの岡山駅前広場デザインについて		
13	B	プランBが最適。 仮称桃太郎ドームの、誰をも包み込む大きな屋根は多くの人が集う場所として、駅の集客力を最大限活かすものであり、人・情報・物が相互に交流される機能を持っている。また、災害時の拠点にもなる。 事業費は、他のプランに比較して膨大な予算を必要とするが、イベント等の使用料などをあてることにより、相殺できるものとする。
14		プランBが素敵。
15		プランBがいい。
16		近代的でよいが、低層の岡山駅とバランスが悪く、費用も高額。
17		ガラス大屋根は折角の「晴れの国岡山」には、空を見せない事はもったいない。暑くて岡山になじまない。
18		方面別バス乗り場の東（市役所筋側のバス停）への小型デッキには賛同できる。バス乗り場があまりに遠い。この場合、岡山駅公共通路からそのまま階段を降りずに南側のバス停まで行けるとありがたい。空の視界を妨げない小さいデッキが望ましい。出来れば、高島屋方面まで突き抜けると、利便性は向上する。
19		工事費が高すぎる。
20		概算工事費が高すぎる。
21		全面的に屋根があるため、駅から路面電車・バスに乗り換えるのに傘をささずにアクセスできる。広々とした屋根付きイベントスペースが確保されている。
22		事業費が高い。

意見の概要と意見に対する市の考え方

(3/12)

No.	案	意見の概要
6つの岡山駅前広場デザインについて		
23	C	中途半端な感が否めなかったり、岡山市のコンセプトをもとにしたデザインも強引さが目立ち、周囲の景観とマッチしていない。
24		外国人の立場から見ると、Plan Cが一番面白い。伝統的で岡山らしい。
25		外国人観光客に受けが良さそう。都市ビジョンの庭園都市にも合う。岡山駅外観とのバランスがよい。
26		外国人観光客を意識するなら、C案のように個性を出すのがよい。
27		シンプル且つ岡山の大きな要素である「後樂園」、「岡山城」を要素に入れていて、且つ広場だけではなく、岡山駅舎を含めたデザインが成されている点を大きく評価したい。C案を推薦する。
28		岡山駅ならではの風景にならない。
29		我々が提案している後樂園イメージの取り入れに最も近いプラン。大筋岡山駅正面のイメージとして、後樂園・岡山城への動線確保として、望ましいプラン。各ゾーンを後樂園の池のパーツ、芝生、建物をイメージさせている。
30		後樂園の流店はコンパクトで、電車待ちやバス案内場や待合スペースのデザインの基礎にしやすい。
31		芝生軌道や芝生広場は、管理が難しいが、駅前広場に取り入れるといい。流店そばの池のイメージに噴水を重ねれば、「噴水で集合」とわかりやすい。
32		駅舎デザインは元々岡山城の焦茶色だったが、岡山城の「金烏城」のイメージで塗り直すのがいい。
33		岡山駅から城下までの路面電車軌道は芝生軌道とし、鹿児島市のように岡山市公園緑地課が公園の位置づけで管理すると、後樂園までの道のりが来訪者すべてにわかる。
34		バリアフリーの勾配計算は丁寧で素晴らしい。
35		多人数が通行するには、樹木が多すぎ。広場の維持管理にも問題がある。
36		京都や金沢、倉敷のような伝統的な街並みが残っている街のための案です。岡山でこのようなデザインを採用しても、他所から笑われるだけです。
37		岡山の玄関口と岡山の最大の観光資源である後樂園が視覚的イメージで繋げることは、後樂園のPRに大変大きな効果があると考えられる。岡山駅を降りた観光客が駅前の景色を見て、後樂園への期待感を膨らませて、路面電車で後樂園へ向かうというおもしろいストーリーができる。以上のことから、C案に期待する。
38		C案は、岡山城をイメージしたデザインでもあり、寺や神社に人が集まる日本人の習慣にもあっていてよさそうだが、周囲の建物に和風建物がなく、バランスがとれていないと思う。

意見の概要と意見に対する市の考え方

(4/12)

No.	案	意見の概要
6つの岡山駅前広場デザインについて		
39	D	中途半端な感が否めなかったり、岡山市のコンセプトをもとにしたデザインも強引さが目立ち、周囲の景観とマッチしていない。
40		岡山駅との外観のバランスが悪い。屋根下が暗く、全体的に暗いイメージになりそう。
41		プランDがいい。
42		「晴れの国岡山」の空を屋根ですべて覆うのはもったいない。閉塞感がある。
43		支柱間の距離が長く、風圧など構造上に問題あり。
44		無難と思う。
45		全面的に屋根があるため、駅から路面電車・バスに乗り換えるのに傘をささずにアクセスできる。広々とした屋根付きイベントスペースが確保されている。
46		岡山らしさを出せるのはD案。
47	E	中途半端な感が否めなかったり、岡山市のコンセプトをもとにしたデザインも強引さが目立ち、周囲の景観とマッチしていない。
48		雨の日、電車に乗るのに濡れそうで不便。シンプルすぎて緑が少ない。
49		傘が多く連なる案については、「岡山」という場所を特徴的に表していない。
50		岡山駅ならではの風景にならない。
51		築山ひろばに注力しているが、ここは死にスペースで、道路をもっと狭くして自動車交通を抑制しない限り、排ガスにも襲われて、活用できない空間。逆に姫路駅前のように車線減少させてモール化すれば、素晴らしい空間になる。
52		駅前広場の正面をあまりいじらないのはいいが、シンボル性に乏しい。むしろC社案に軍配があがる。
53		観光客への案内看板設置計画についてはよく出来ている。
54		路面電車の停留所と、イベント広場が接近して、イベントを催すには不適。
55		地味。費用対効果が見えない。
56		屋根のデザイン性が高く、イベント等に使いにくいと思う。

意見の概要と意見に対する市の考え方

(5/12)

No.	案	意見の概要
6つの岡山駅前広場デザインについて		
57		中途半端な感が否めなかったり、岡山市のコンセプトをもとにしたデザインも強引さが目立ち、周囲の景観とマッチしていない。
58		Plan FもOK。緑がたくさん。屋根があるが、駅の階段から街並みと空が見える。
59		虫が湧きそう。水辺はスペースの無駄。岡山駅の外観に合わない。
60	F	プランFをお薦めする。 年齢を問わないような利用のしやすさ、さらに都会的に感じられ雑然さがない事、都市に必要な緑が多い事、夏は暑いときに水遊びができる事、岡山らしさがある事に魅力を感じた。
61		岡山駅ならではの風景にならない。
62		庭園都市を芝生屋根として表現するという意図はわかるが、大規模な改修の割に利便性、シンボル性ともにC社プランに劣る。
63		駅前広場に水たまりの様な物と、段差は要介護支援者などに注意が必要ではないか。
64		これからの時代は、このようなデザインが望まれると思う。

意見の概要と意見に対する市の考え方

(6/12)

No.	意見の概要
その他、駅前広場デザインについて	
65	岡山は晴れの国ですので、大きい屋根が要りません。大きい屋根があれば街並と空が見えません。
66	「大きな屋根で広場全体を覆う」案については、岡山の特徴的な面でもある「晴れの国」の気持ちよい空の広さを感じられないことから、できれば外して頂きたい。
67	屋根が多いので昼も夜も光のあたり具合が鈍くなるのではないか。屋根を減らすほうがいいかも。
68	「晴れの国」なので、おひさまの光をずっと感じられる空間になるといい。
69	駅前自体は商業地になっており、駅舎、広場だけが浮いている感じにならないよう配慮いただきたい。
70	時代の変化によって、駅前ビルテナントがハンコを押したように他の駅と同じで、「岡山に来た」という気持ちになれないことがもったいないとずっと感じていた。個性を出そうとしているデザイナーさんに岡山駅を託したい。
71	すべてのプランに共通していることとして、現在計画中の「岡山市駅前町一丁目2番3番4番地区第一種市街地再開発事業」との一体開発の視点が不十分です。この再開発事業では、2階部分でペDESTリアンデッキが計画されていると聞いています。どのような導線が考えられるのか、検討すべき。
72	電車もタクシーも雨に濡れない屋根をつけて下さい。現状では大きな荷物を持って岡山駅からタクシー乗り場に行くだけで雨に濡れる。観光客含め、非常に不評。すてきなデザインよりは、途切れなく雨風をよける機能を優先して下さい。
73	平面駐車場が要りません。コンパクトな町、賑やかな町のため平面駐車場がダメです。スペースが凄くもったいない。その代わりに広場、木、風水を作ってください。タクシーとバスのスペースも大き過ぎる。
74	ターゲットを絞るべき。
75	岡山駅は低層なので、駅を高層化しない限りは、駅外観とのバランスはよく考えるべき。
76	現在、地下にある観光案内所は駅前広場に移動すべき。 どこの観光都市でも観光案内所は、まず駅に降り立ったら行く場所であり、それをわかりにくい地下の奥地に配置する理由がわからない。市の案では、交通案内所を配置する案になっているが、観光案内所も必ず併設するべき。岡山市が観光都市を目指すのであれば、広場への配置は絶対に必要。

意見の概要と意見に対する市の考え方

(7/12)

No.	意見の概要
その他、駅前広場デザインについて	
77	「ももちやり」は現在のホテルグランヴィア前ではなく、より多くの人々の目につく場所に移動するべき。自転車の導線確保は難しいとは思いますが、観光客に使用してもらい、公共交通などでは行けない場所にも足をのばしてもらえたらマストである。
78	駅前がよくイベントをしているのを見かけるので、屋根があるといい。
79	岡山駅前広場の賑わい創出のため、2002年より路面電車祭りを駅前広場で始めたが、今日多くのイベントが行われるようになったのは喜ばしい。ただ駅前広場には電源コンセント、水道などがなく、どのイベントでも手間と費用がかかり、市民が手軽に活用できる構造ではない。また音楽イベントなど小さな舞台も必要で、舞台を支援するPAを濡らさない最低限の屋根や楽屋スペースも必要だ。
80	路面電車乗入れスペースの若干の拡大の必要性 現在岡電では18m級MOMOが2両で来春3両目が導入されるが、最低限駅前の路面電車乗り場はすべてが18m級に対応していなければ、将来の環状化などのバリアフリー需要に耐えられない。また、イベント電車などの活用には現在のところは18m級MOMOと12m級を縦に入れているが、駅前広場では考慮されていない。ポイントの形状など再検討の必要がある。
81	桃太郎大通りを芝生軌道と芝生歩道に 後樂園をイメージし、後樂園までの動線を確保するため、駅前から城下の路面電車軌道は芝生軌道にすることが望ましい。桃太郎大通り北側の歩道にも狭くてもいいから芝生帯を備え、後樂園まで続くと観光客にはわかりやすい。保守は大変だが、桃太郎大通りの殺風景さが解消される。
82	既存の駅前広場は、清楚で品位があり、市民のひとりとして、現存のままで十分と思っている。
83	延伸した路面電車は、駅前の渋滞やバスの動線と重なることになる。それを理由に路面電車の運行本数を減らすことだけは絶対にしないでいただきたい。
84	求める機能として、「利便性向上」、「回遊性向上」、「にぎわいの創出」が必要。そのうえで重視すべきは、「岡山駅から路面電車やバス、周辺の施設への快適な動線の確保」と、「イベントを行うのに十分なスペース」。もっとも必要な物としては、やはり「全面的な屋根」だと思う。
85	選考基準を公表してほしい。選考結果を公表してほしい。
86	デザイン、機能、コスト、何を一番重視するのか。
87	デザイン料は含まれているのか。
88	県内産業振興のため伝統建築、産業を活用すべきでは。

意見の概要と意見に対する市の考え方

(8/12)

No.	意見の概要
その他、駅前広場デザインについて	
89	県産木材を使用してはどうか。
90	鉄は重く負担がかかるので県内産木材を利用してはどうか。
91	備前焼、烏城彫、瓦等県内にはいいものがあると思う。
92	<p>岡山県は、インバウンド旅行者数増加のための施策をとっており、県内在住外国人市民の意見を取り入れることは重要。</p> <p>岡山在住外国人の12人にデザインについて意見をいただいた。</p> <p>一番人気はC案（41.7%）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・50年後にもまだ良いデザイン。他のデザインは5、10年後には流行遅れとみなされる。 ・岡山には緑が豊かで、歴史のある場所が沢山あるが、駅周辺にはないため、観光客に悪い影響を与える。 ・岡山の中心地には伝統的な建物がないため、C案が一番いい。 <p>二番目に人気のデザインは、B、D、F（各16.7%）</p>
93	岡山駅前と後楽園のイメージにするには、それほど大きな仕掛けはいらないと思われる。極端に言えば、枝振りのよい大きな松を1本植えるだけでも十分かもしれない。そうであれば、これまで駅前広場を象徴するものとして市民に親しまれている噴水と桃太郎像はそのまま残してもらいたい。
94	バス停が複雑すぎて不便であるため、もう少しわかりやすいといい。
95	高さや壁面、色調がそろっている（最近建つ建物は、いい感じでそろっている）と雰囲気がよくなると思う。
96	駅前広場から見える建物の中に時計台のようなワンポイントがあるといい。地元民として、よりよい駅前広場になることを願う。
97	東側（市役所筋側）のバス停までは、地下改札を出れば便利だが、バス乗り場への案内が余りに弱い。JRの商業施設内ではあるが、バス乗り場案内の充実が必要。

意見の概要と意見に対する市の考え方

(9/12)

No.	意見の概要
駅前広場デザイン以外のご意見	
98	素人には絵を見ただけではわかりません。
99	募集意見には、早く回答して共有できるようにしてください。それから選考に入ってもいいのではないかと。
100	この程度のデザインならば職員でもできるのではないかと。
101	デザイナーを決めるだけと書いているが、決めてしまうとその人の個性ばかりがでて、当初のデザインから変わる恐れがあるのでは。市側の要望に応じてくれないのでは。
102	J R、バス、タクシー、警察、商店街の意見は聞いたか。デザインを決める前にやるべきことでは。
103	市内部の調整はできているか。
104	岡山の玄関口。岡山県全体で考えてみたらどうですか。
105	寺社建築等は何百年も壊れていない再考を。
106	このままでは大手企業が儲けるだけだ。
107	20年程度で改修するような計画はやめてください。

以上のいただいた意見に対する市の考え方

皆様からいただいたご意見は、デザイナーの選定及び今後の具体的なデザイン検討において参考とさせていただきます。「岡山らしさ」が感じられる魅力的な駅前広場となるよう努めていきたいと考えています。

意見の概要と意見に対する市の考え方

(10/12)

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
駅前広場デザイン以外のご意見		
108	選考基準を公表してほしい。選考結果を公表してほしい。	公募をするにあたり、評価基準等も併せて市のホームページに公表しております。評価項目としては、的確性、実現性、専門技術力などがあります。特定テーマに対する提案に加え、実施方針や見積額など総合的に評価することとしています。
109	デザイン、機能、コスト、何を一番重視するのか。	
110	以前の駅前改修の費用、年月を公表してください。なぜ、多額の費用をかけたものを壊すのか。補修で対応できないのか。	現在の岡山駅前広場は、平成 11 年 12 月に完成し、整備費用は約 70 億円です。その後、平成 20 年 9 月に一般車乗降場の拡張を約 3 千 5 百万円で実施しています。
111	デザイン料は含まれているのか。	平成 30 年 5 月 22 日に開催した「路面電車乗り入れを含めた岡山駅前広場のあり方検討会」において、路面電車の乗り入れを含めた駅前広場のレイアウト案を一つに絞り込みました。今回の公募はこのレイアウト案をベースにデザインを検討するデザイナーを選定するものです。デザイナーを広く募るため、岡山市への業者登録と同等の資格を有し、建築士事務所登録証明書の提出が可能であることを条件に、全国から公募しました。 企画競争審査委員会の審査により選ばれたデザイナーの方とデザイン検討に関する委託業務の契約を締結し、その後、検討会などでのご意見を参考としながら具体のデザインについて検討を進めていくこととしています。
112	三角の形状を変えるという発想はなかったのか。	
113	一番街を含めて改修し複合ビルにする考えはなかったのか。	
114	宮大工、船大工に募集をかけましたか。	
115	今のやりかたでは、以前の失敗を繰り返すだけだ。失敗を繰り返さないためにも期間をかけたほうが良いのでは。急ぐ理由を具体的に示してほしい。	
116	立体模型を作って展示してもらわないと素人にはわからない。	

意見の概要と意見に対する市の考え方

(11/12)

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
駅前広場デザイン以外のご意見		
117	路面電車の利用実態を公表してください。	路面電車の利用実態の概要は、本市のホームページに掲載しておりますが、平成 28 年度の一日平均利用者数は、10,409 人となっています。
118	今後の路面電車の延伸、増便、バリアフリー対応電車化はあるか。	路面電車の延伸・環状化含む将来の路面電車のネットワークのあり方については、今年度より検討を開始しています。 増便、バリアフリー車両の導入等については、事業者が運営状況等を踏まえ判断するものと考えますが、今年度、バリアフリー対応の低床車両を1台導入することは確認しています。 路面電車の利用者については、高齢者、障がい者、ベビーカーを押す方なども含めたあらゆる方が対象になると考えています。
119	岡電に利用率アップの具体的な計画はもっているか。	
120	どのような層、利用者をターゲットにしているか。	
121	駅前の人の動線を具体的に数字及び図で示せ（どの交差点の利用が多いか）。	次ページの図参照。
122	イオン方面、駅前商店街、桃太郎大通り、どの動線を重視するのか。	回遊性の向上のためには、どの動線も重要と考えています。
123	新規バスの駅前バスターミナルへの乗り入れは考えているのか。	別途、検討しています。

駅前周辺歩行者数について

調査日時

<平日> 平成 29 年 10 月 31 日 (火) 7:00~9:00 計 2 時間

<休日> 平成 29 年 11 月 1 日 (日) 15:30~17:30 計 2 時間

